

備前市事務事業評価表

事務事業名	地球温暖化防止対策事業	コード	01-02-01-05
		担当課・係	環境課 保全係
		担当者	大西健夫
		電話	84-2596
事業実施期間	H17.8~H20.3		
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	安全で快適に暮らせるまちづくり	
	中項目(基本施策)	自然と共生するまちづくり	
	小項目(施策)	環境保全 地球温暖化対策の推進	

事業について	
目的 (何のために)	温暖化防止のための活動や取り組みについて情報提供などを行い、住民各人に環境について考える意識啓発を行う。
対象 (誰・何を対象に)	小学生～成人までの市民
内容	環境問題を題材とした各種イベントの開催 エネルギーに関する資料の展示や貸出を行うオフィスの開設運営

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など (単位)	18年度 回数など (単位)	回数など (単位)
啓発事業の実施	12回	32回	
環境展示オフィス開設	1箇所	2箇所	
ホームページ作成	1サイト	1サイト	

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	間接補助金等	直接事業費	間接補助金等	直接事業費	間接補助金等	直接事業費	間接補助金等
	人件費	3,747	委託費負担		人件費	10,168	委託費負担	
	合計	3,747	一般財源等	3,747	合計	10,168	一般財源等	10,168

必要人員	0.30人	1.04人	
結果指標	結果指標名	結果指標量	対前年比
	啓発事業への参加者数	488	614.96%
	単位	人	
	活動にかかるコスト	3,747,000円	0.00%
	単位当たりコスト	7,678円	

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	温暖化防止活動に取り組むきっかけになる可能性がある人員		
成果指標名	啓発事業への参加者数	式又は説明	参加者数総計
	17年度	18年度	
成果指標量	488	3,001	
対前年比	—	614.96%	0.00%
到達目標値	2,000	到達目標年度	19年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)		
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 関係法令等：	妥当性評価<A~E>	C
	対象の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	広報手段や実施場所など市民に事業を浸透拡大させていく方法に工夫が必要	
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input checked="" type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である		
市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である			
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input checked="" type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E>	B
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	行政の支出は人件費のみであり、他団体との協力体制もできている観点からみれば効率よく事業がすすめられている	
	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい		
目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E>		
有効性の評価	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	課題認識	
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input checked="" type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている		

平成19年度状況	<input checked="" type="checkbox"/> 重点化している <input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	説明	対象者として子ども及びその保護者を重点的に啓発するように計画実施
目標値	結果指標量	1,000	結果指標量	
	成果指標量	1000人		

総合評価	現行のまま「まほろば事業」のソフト部門と連携することが最も効果的であり、適当であると考えられる。今後は、他事業と連携し普及啓発の拡大を図り、温暖化防止に努めていく。	評価区分<A~E>	C
------	--	-----------	---

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	---	--	---------------------------------------

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	他団体との協働事業のよき事例になっており、継続していける部分を相互協力して維持していく	20年度	人・物・予算の相互作用で事業が効果的に実施できる